

帝キネ現代映畫

脚色者 内田 徳司氏  
監督者 深川 ひさし氏  
原作並撮影 山中 虎男氏

——主要役割——

圓 妙 岡田 時彦氏  
八重 千種 香子嬢  
留吉 林 誠太郎氏  
住職 牧野 睦氏

(略筋省略)

「岐路に立ちて」と同時に製作された映畫で併  
優其他もすべて同様である。が併し全くつまら  
ない映畫である。譚りのたよりの事、面白く  
ない事、クライマックスの雪崩が子供だまし過  
ぎる事を考へて見終つてから腹立たしさを覺  
ゆる位である。御苦勞様な雪中の美しい撮影の  
印象が徒らに残るだけにすぎない。

——山本絲葉——

興行價值——興行價值も到つて乏しい。吸引力  
の弱い事がすべてに於て損である。(四月廿三日  
大阪芦邊劇場封切)